

令和6年度

戸建て住宅の液状化対策研修会



平成23年に発生した東日本大震災では、これまでの想定を超える地震・津波が発生し、広域かつ甚大な被害が起こりました。県では平成24～25年度に地震被害想定調査を実施したところ、液状化による建物の全壊・半壊棟数が最大で17,591棟と推定されています。

そこで、液状化・地盤災害・土木災害の第一線で活躍されている、東京電機大学 安田 進 名誉教授を講師にお招きし、市街地および個々の住宅における液状化調査・対策の動向について解説していただきます。

また、東日本大震災において実際に液状化の被害があった久喜市から、液状化対策の担当課の方をお招きし、当時の被災状況やその後の対策工事など、実体験に基づいた液状化対策についてお話しいたします。

日時

令和6年11月12日(火) 13時30分～16時30分
開場予定時間 13時15分

会場

春日部夢の森公園 サークル室1・2（管理棟内）
所在地：春日部市下大増新田391

講師

東京電機大学
安田 進 名誉教授



【講師プロフィール】

東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻博士課程を修了し、九州工業大学工学部助教授、東京電機大学理工学部教授、同大学研究推進社会連携センター長、同大学副学長などを勤め、地盤工学会副会長、日本地震工学会会長などを歴任。「市街地液状化対策推進ガイドランス（平成26年3月国土交通省）」及び「リスクコミュニケーションを取るための液状化ハザードマップ作成の手引き（令和3年2月国土交通省）」の策定や、東日本大震災や能登半島地震で液状化により被災した諸都市の復興に係わる。能登半島地震における液状化による側方流動現象について、各種メディアで地盤工学の専門家としてコメント。令和元年安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞。

内容

① 市街地および個々の住宅における液状化調査・対策の動向
—能登半島地震による7つの都市の被害も含む—

（講師：東京電機大学 安田 進 名誉教授）

② 東日本大震災における久喜市の液状化被害と対策について

（講師：久喜市 まちづくり推進部 都市整備課）

主催

埼玉県

申込方法

上記に必要事項を記入の上、下記申込先にEメールで提出してください。
受講申込書は県ホームページからダウンロードすることもできます。

【URL】 https://www.pref.saitama.lg.jp/a1102/ekijyoka/ekijouka_kensyu.html
※近日公開予定

申込〆切

11/7(木)

問合せ先

埼玉県 都市整備部 都市計画課 開発指導担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

Eメール：a5330-16@pref.saitama.lg.jp 電話：048-830-5478

定員

先着70名

参加費

無料



会場案内図



【電車】

東武アーバンパークライン「豊春駅」東口
下車約2.1km(徒歩約28分)

【バス】

「春日部駅」西口発 朝日自動車バス「か
すかべ温泉/ウィング・ハット春日部」
行き乗車(約15分)
「かすかべ温泉バス停」下車徒歩約7分

【自動車】

- 東北自動車道「岩槻 I.C」から5.5km
(約15分)
- 国道16号「増戸(北)交差点」を南東
方面へ約1.1km(約3分)
- 駐車場130台(東側45台、管理棟側
35台、北園50台)

留意事項

- ①申込みの際は、必ず連絡先をご記入ください。大雨、風雪、地震等でやむを得ず中止する場合など緊急時の連絡に使用いたします。
- ②個人情報については、当研修会の目的以外には使用いたしません。
- ③事前に受講決定通知等は発行しません。応募者多数により定員を超過した場合は、事務局にて抽選を行い、受講できなくなった方のみご連絡いたします。
- ④当日の資料につきましては、各自印刷等によりご持参ください。※令和6年11月5日(火)頃、上記URLにアップロードする予定です。